

MPV(sLV)- 【BS】Rituximab療法

2週毎 コース予定

疾患名 中枢神経リンパ腫 (CNSL)

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

主治医 指導医 HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()、HCV抗体()

スケジュール

《注射》		day1	day2	day3	day4	day5	day8
リツキシマブBS	375 mg/m ²	↓					
メソトレキサート(メトトレキサート)	3500 mg/m ²		↓				
オンコビン(ビンクリスチン)	1.4 mg/m ² [最高2 mg]		↓				
《内服》 ※奇数コースのみ							
塩酸プロカルバジン(プロカルバジン)	100 mg/m ²		↓			↓
アイソボリン(レボホリナート)	10 mg/body/回		↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓

- 【注意】
- * リツキシマブ施行時は体温・脈拍・血圧測定・SpO2測定はup直前におこなうこと。
 - * 一日の尿量が3000 mL以上になるように化学療法開始前日より輸液を行う。
 - * 補液にメイロンを混注して尿をアルカリ化(pH≥7.0)する。
 - * MTX投与開始後24時間後・48時間後・72時間後のMTX血中濃度が、それぞれ
1x10⁻⁵M(10 μmol/L)未満, 1x10⁻⁶M(1 μmol/L)未満, 1x10⁻⁷M(0.1 μmol/L)未満であることを確認し、どちらか一方でも超えた場合は、各々1x10⁻⁵M未満, 1x10⁻⁶M未満, 1x10⁻⁷M未満になるまで、十分な水分の補給、尿のアルカリ化、レボホリナートの増量や投与延長を行う。
 - * プロカルバジン内服は奇数コースのみ使用。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day 1

【初回のみ】 * 初回投与は必ず入院で実施

① イブプロフェン(100mg) _____ 錠 デザレックス(5mg) _____ 錠 内服

☆30分後より

② 生食500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)

- ③ リツキシマブBS + 生食 適量 (10倍希釈)
◎ 輸液ポンプにて 50 mL/時間 で点滴静注
*注:総量600 mLを超える時は生食1Lを使用
- ④ 50 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間 で点滴静注
- ⑤ 100 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
◎ 輸液ポンプにて 150 mL/時間 で点滴静注
- ⑥ 150 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
◎ 輸液ポンプにて 200 mL/時間 で点滴静注
- ⑦ 200 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
◎ 輸液ポンプにて 250 mL/時間 で点滴静注
- ⑧ 250 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
◎ 輸液ポンプにて 300 mL/時間 で点滴静注
- ⑨ 300 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
◎ 輸液ポンプにて 350 mL/時間 で点滴静注
- ⑩ 350 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
◎ 輸液ポンプにて 400 mL/時間 で点滴静注

【2回目以降】 第1サイクルにおいて発現した有害事象がGrade 2以下であった場合

- ① イブプロフェン(100 mg) _____ 錠 デザレックス(5 mg) _____ 錠 内服

☆30分後より

- ② 生食500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ③ リツキシマブBS + 生食 適量 (10倍希釈)
◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間 で点滴静注
*注:総量600 mLを超える時は生食1Lを使用
- ④ 100 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
◎ 輸液ポンプにて 200 mL/時間 で点滴静注
- ⑤ 200 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
◎ 輸液ポンプにて 300 mL/時間 で点滴静注
- ⑥ 300 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
◎ 輸液ポンプにて 400 mL/時間 で点滴静注

【奇数コース】

day 2～8

塩酸プロカルバジン _____mg 内服

day 2 抗がん薬投与1時間半前にアプレピタントカプセル(125 mg) 1Cを内服

- | | | |
|------------|-------------------|-------------------|
| ① 生食500 mL | にて血管確保 | 維持(20 mL/時間) |
| ② グラニセトロン | 内服ゼリー 2 mg | 内服 |
| ③ デキサメタゾン | 9.9 mg + 生食 20 mL | 側管静注 |
| ④ オンコビン | + 生食 50 mL | 点滴静注5分(600 mL/時間) |
| ⑤ メソトレキセート | + 生食 350 mL | 点滴静注120分 |

※生食150 mLをバッグから前もって抜いておく

day 3～

- ① アイソボリン 10 mg 側管静注

アイソボリン 25 mgを生食 5 mLにて溶解後、必要量 2 mLを採取する。

メソトレキセート投与開始24時間後より開始し、6時間ごとに繰り返し静注する。

24、48、72時間後に血中MTX濃度を測定する。

day 3, 4 アプレピタントカプセル(80 mg) 1C 内服

- | | | |
|-------------|-------------------|--------------|
| ① 生食 500 mL | にて血管確保 | 維持(20 mL/時間) |
| ② デキサメタゾン | 6.6 mg + 生食 20 mL | 側管静注 |

day 3～8

グラニセトロン内服ゼリー 2 mg 内服

day 5

- | | | |
|-------------|-------------------|--------------|
| ① 生食 500 mL | にて血管確保 | 維持(20 mL/時間) |
| ② デキサメタゾン | 6.6 mg + 生食 20 mL | 側管静注 |

【偶数コース】

day 2

- ① 生食500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)
 - ② グラニセトロン内服ゼリー 2 mg 内服
 - ③ デキサメタゾン 9.9 mg + 生食 20 mL 側管静注
 - ④ オンコビン + 生食 50 mL 点滴静注5分(600 mL/時間)
 - ⑤ メソトレキセート + 生食 350 mL 点滴静注120分
- ※生食150 mLをバッグから前もって抜いておく

day 3～

- ① アイソボリン 10 mg 側管静注
- アイソボリン 25 mgを生食 5 mLにて溶解後、必要量 2 mLを採取する。
 メソトレキセート投与開始24時間後より開始し、6時間ごとに繰り返し静注する。
 24、48、72時間後に血中MTX濃度を測定する。

day 3, 4

- ① 生食 500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② デキサメタゾン 6.6 mg + 生食 20 mL 側管静注

day 5

- ① 生食 500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)

月日	/	/	/	/	/						
リツキシマブBS 開始時刻	↓										
オンコビン 開始時刻		↓									
メソトレキセート 開始時刻		↓									
アイソボリン 開始時刻			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認			：	：	：	：	：	：	：	：	：

月日	/	/	/	/	/
リツキシマブBS 開始時刻	↓				
オンコピン 開始時刻		↓			
メソトレキセート 開始時刻		↓			
アイソボリン 開始時刻			↓	↓	↓
確認					

月日	/	/	/	/	/
リツキシマブBS 開始時刻	↓				
オンコピン 開始時刻		↓			
メソトレキセート 開始時刻		↓			
アイソボリン 開始時刻			↓	↓	↓
確認					

月日	/	/	/	/	/
リツキシマブBS 開始時刻	↓				
オンコピン 開始時刻		↓			
メソトレキセート 開始時刻		↓			
アイソボリン 開始時刻			↓	↓	↓
確認					

月日	/	/	/	/	/
リツキシマブBS 開始時刻	↓				
オンコピン 開始時刻		↓			
メソトレキセート 開始時刻		↓			
アイソボリン 開始時刻			↓	↓	↓
確認					